

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 農林 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市日光ブランド情報発信センター		
	所在地	日光市瀬川844		
指定管理者	名称	DAK共同企業体		
	代表者名	株式会社大日光・エンジニアリング 代表取締役 山口侑男		
	住所	日光市瀬尾33-5		
指定期間		平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5 年間
選定方法		公募	評価実施年	5 年間のうち 1 年目
施設設置目的		市内における特産品等及び地場産業の振興に資するとともに、農林水産業、観光業及び商工業の連携強化による情報発信を推進し、日光ブランドの開発を目指した拠点となることを目的に設置。		
主な実施事業		○特産品・農林水産物等の情報発信及び販売 ○日光らしい農林水産物・特産品の消費拡大 ○市内観光に関する情報収集・情報発信業務		

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績				
a	利用者数	千人	230	129								
b	利用者の満足率	%	70	73								
c	コスト削減率	%	100	107								
d	事業収入	千円	213,920	164,475								
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度	-	-
収入計 A		37,617,806	0	0		
指定管理料	指定管理料	0				
	利用料収入 C	20,432,797				
	自主事業収入	17,099,429				
	その他	85,580				
支出計 B		58,410,961	0	0		
指定事業費	指定事業費	55,348,347				
	内人件費 D	27,370,931				
	内外部委託費 E					
	自主事業費	3,062,614				
事業収支 A-B		-20,793,155	0	0		
人件費率 D/B		46.86%	#DIV/0!	#DIV/0!		
外部委託比率 E/B		0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!		

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	店舗改装のため、4月1日～12日を休業と致しました。

サービス改善の状況

POSレジシステムを用いて各生産者個別に販売実績及び、店舗運営に関するご案内などをメール配信により利便性の向上を図りました。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	A
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
② サービスの 質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	総括	利用実績は、目標水準である。	B	B
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	C	C
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		・市外PR活動としてJR大宮駅などイベントに参加して野菜販売とパンフレット配布の広報活動を図りました。		
		・リニューアルオープンイベント及び、市内の宿泊施設へのパンフレット配布などで施設認知度を高める活動を行いました。		
		・SNSによるイベント情報及び、旬の野菜出荷状況などの投稿により、お客様とお客様への利便性を向上を図りました。		
		(所管課評価)		
		・リニューアルオープンイベントやSNSによる情報発信等により前年度より売り上げは伸びているが、計画時の目標値に満たない状況であった。計画時からリニューアル工事に伴う内装工事費用等の約2,000万円の赤字を見込んでいたが、決算では200万円の赤字幅が増えている状況にある。		
前年度総合評価		・平成31年度(令和元年度)の計画では、人件費や管理費などの経常経費の削減に努めており、収支についても黒字に転じる計画となっている。		
		・利用料金収入においても増となる計画であり、イベントの実施等自主事業への取組が予定され、効果が期待される。		
前年度総合評価		総合評価 ※3段階評価	C(要改善)	

※評価区分

評価基準		A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
		B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
		C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
		※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。
		※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。
総括評価	A(優良)	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	A、C 以外
	C(要改善)	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	A、C 以外
	C(要改善)	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。